

4.2 モニター調査結果と課題

モニター調査の結果と得られた課題について要約すると以下ようになる。

(1) 操作性について

- ・携帯電話・リーダの操作性は概ねよい。
- ・電子タグの貼り付け位置は、ルールが決まっていることによって見つけやすい一方、貼り付けの位置の高さには検討の余地がある
- ・読み取りについては反応時間、「uid です」などガイダンス本文以外のコメントの処理などの課題がある

(2) ガイダンスについて

- ・聞き取りやすさには、携帯電話に繰り返し聞く機能があることも含めて問題はない
- ・表現は概ね適切である。3 項目（便器・ペーパー・水栓）ともに分からなかったという回答はなかった
- ・位置を正確に把握するために、起点（ドアを背にするなど）を定めたが、徹底できなかった。起点をガイダンスで案内する方法と、起点を予め設定し、ルール化する方法があり、検討を要する
- ・ガイダンス項目はまだ不足である。追加項目の検討と、同時に情報量の多さによる使い勝手の悪化のバランスを考慮した検討が必要である
- ・ガイダンスが始まるまでの待ち時間には工夫する余地がある

(3) 公共トイレ音声案内システム（試験システム）について

- ・モニター全員が使用を希望し、端末価格などの条件によっては、有効なシステムと言える
- ・購入にあたっての「廉価」はこの限りでは曖昧であり、購入可能な金額を調査結果として取り上げにくい
- ・「トイレ全体のレイアウト」など個室以外の情報提供の要望が多く出された。実用化に向けての考察として記載すべき事項である
- ・より多くの公共トイレへの設置希望がある

(4) 音声案内システムについて

- ・トイレ情報以外への展開が期待される。